



ふせの姿勢は犬にとって無防備な姿勢になるので、飼い主の指示に従って伏せさせることは、犬の服従心を育てるためにとても有効な号令です。もしも犬が嫌がる様子を見せたとしても決して諦めず、オヤツやおもちゃを使って上手に誘導しながら練習しましょう。

方法その1

- ① 犬をすわらせませす
- ② 犬の鼻先にオヤツ(またはおもちゃ)を持っていきます
- ③ オヤツをゆっくりと真下におろします
- ④ 犬がオヤツを追って頭を下げてきたら少しずつオヤツを前にずらし「ふせ」の号令をかけます
- ⑤ 犬がふせの状態になれば「よし」と褒めて、オヤツを与えて(おもちゃで遊んで)あげましょう

方法その2

- ① 片足を犬がふせて通れる位の山形に立てて座ります
- ② オヤツやおもちゃを使って犬が足の下を通るように誘導します。
- ③ 犬が足の下でふせの形になったときに「ふせ」の号令をかけオヤツを与え(おもちゃで遊んで)あげましょう

犬のしつけは何のため?

犬のしつけやトレーニングは自由を束縛するようで可哀想だという声があります。本当にそうでしょうか?

社会性のある犬という動物は、本来人間のために働くのを目的に改良されてきたものなのです。

ですから、犬の本能の中には、人間の命令に従って働くという意識が残っています。

しつけやトレーニングは、このような犬の本能を刺激し、頭と体を使わせることで本来犬が持っている能力を引き出します。そしてそれは犬が毎日生き生きと暮らしていくためになくてはならないものなのです。

人間に飼われている犬にとっては、飼い主がリーダーです。「犬が今、何をすべきか」をリーダーが示すのがしつけやトレーニングです。リーダーがリーダーらしく君臨せず、なんの指示も与えなかったとしたら犬は混乱します。100%の自由というものは、犬にとって決してありがたいものではないはずです。

「可愛い!可愛い!」だけで抱え込むと、様々な問題行動が起こって困る場合があります。

噛みつき、無駄吠え、飛び出しによる事故、分離不安・・・

人と犬が互いに楽しく平和に暮らしていくためには、基本的なしつけやトレーニングを行うことをおすすめします。

復習しておきたい7項目

- アイコンタクト
- すわれ
- ふせ
- 来い
- まて
- 立て
- ハウストレーニング

あしや秋まつりバザー報告

日時:平成21年10月11日(日) 晴 場所:市立精道小学校 校庭

販売品提供者数: 23名以上

のべ参加スタッフ数: 32名

販売スタッフ: 2010/10/11 10名

準備作業: 2010/10/07 5名

2010/10/08 4名

2010/10/09 4名

2010/10/10 5名

片付作業: 2010/10/16 4名

仕入	0
消耗品(ガムテープ・値札等)	4,228
飲食費(6日/32名)	13,221
出店料	12,000
雑費(バザー一品保管場所清掃経費)	900
計	30,349

売上	182,755
当日寄付金	9,000
募金箱	817
計	192,572
収入-経費	162,223